「ころぶ」

今シーズンのスケート授業が終了しました。

少雪・暖気・降雪などいくつもの苦難を乗り越えたこのリンク、響く歓声を聞くと「あー、やっぱり冬の屋外スポーツはいいな」と思います。低学年保護者の方には、靴ひもしばりのご協力もありがとうございました。

スケート参観も、一部予定を変更しながら行うことができました。見事なすべりを披露する児童、自分に厳しく自分と闘う児童、転んで悔しい気持ちをこらえてながら最後まで滑りきる児童、みんな立派です。

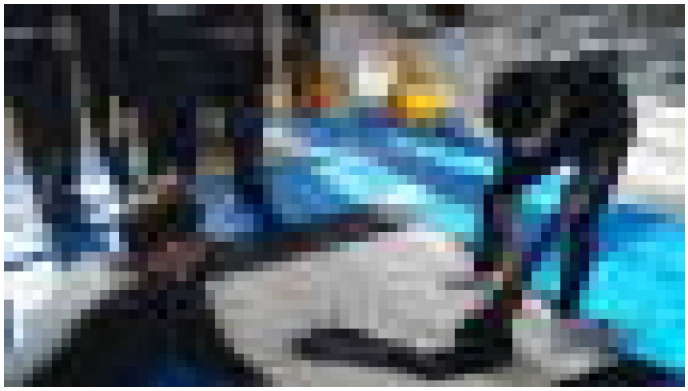
スケートは、習いはじめは立つことさえ難しく、けっこう転びます。派手な転び方をして恥ずかしくなったりケガをしたりすることもありますが、そのうち上手になってだんだん転ばなくなります。経験を積み重ね「ケガをしない転び方」を身につけるのは、大人よりも子どもの方が早くて上手です。

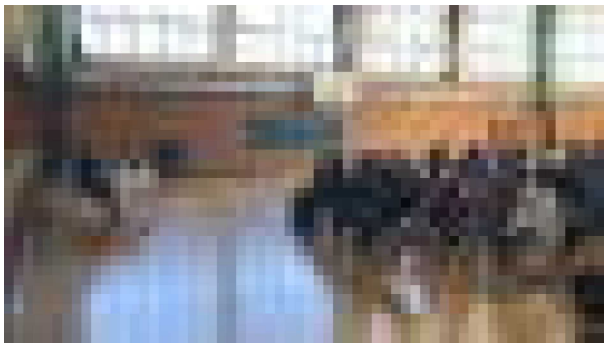
上手になっても転ぶときはあります。予想外の転倒も、限界に挑戦したからこそ転ぶこともあります（髙木菜那選手だって平昌オリンピック決勝で転んでしまいました）。「自分の限界まで挑戦した人」「転んでも立ち上がる人」の姿を見ると、周りの人は勇気をもらい、応援したくなります。なんだか人生と似ています。

ジャンボ書道

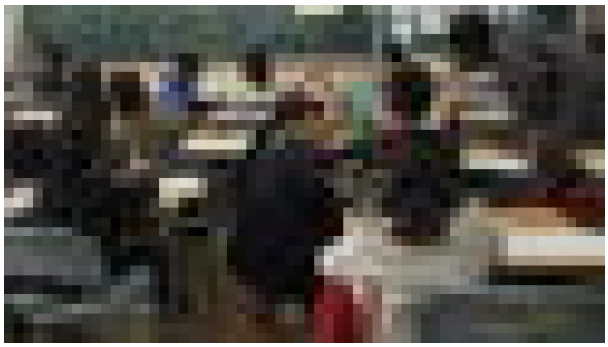
書家の□□□□先生のご指導のもと、６年生がジャンボ書道に挑戦しました。自分が選んだ思い思いの漢字１文字を、巨大な筆で作品にします。

卒業証書授与式の会場に展示しますので、お楽しみに。

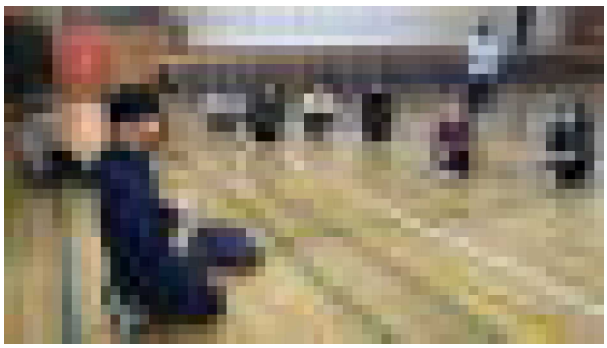




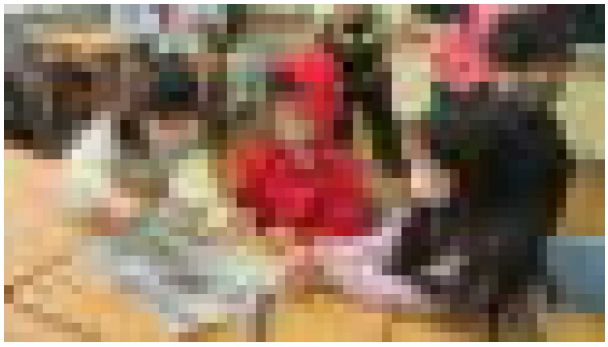
６年生「認知症講座」の様子です。あなたも「認知症サポーター」になりませんか。



帯広南商高生２名が、インターンシップで１年生と３年生教室に来てくれました。

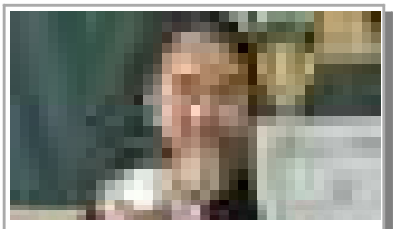


北海道教育大学の□□□□教授に、体育の理論や実技を先生方が学んでいます。



４月に緑丘小に入学予定の子たちが、体験入学で１・２年生と交流しました。

２年 □□　□□さん
２年 □□□□□さん
とかち･ひだか児童版画コンクール
入　賞



音更ハンドボールクラブ
４年 □□□□さん
北海道ハンドボール選手権
優　勝

１年 □□□□さん
「宇宙の日」記念行事
全国小･中学生絵画コンテスト
小学生部門　**優秀賞**

２年 □□□□□さん
「宇宙の日」記念行事
全国小･中学生絵画コンテスト
小学生部門　**最優秀賞**

２年 □□□□□さん
２年 □□　□□さん
日本習字全国書き初め競書
銀　賞

２年 □□□□さん
４年 □□□□さん
４年 □□　□さん
帯広市児童スケート選手権
優秀な成績を収めました

よりよい緑丘小学校をつくるためのアンケート

お寄せいただいたコメント「その２」です。今回も表記など一部修正している場合もありますが、ご容赦ください。

〇発表会や色々な場面で動画を作成して下さり、とても有り難く感じています。
〇学習発表会の観覧について。今年は番号札の配布等お気遣いありがとうございました。また、順番待ちをしていた際、杖をついた母に気付いて椅子を用意して下さり、とても感謝しております。
●学習発表会ですが、ピアノ指導を習い事の先生に丸投げにしているように感じました。学校の授業や放課後・昼休みの練習でも完成できるような内容にして頂きたいです。
●学習発表会で、外に並んだあと多目的で並び直すようになっていましたが、その際に横入りされ、最初に並んだ順番はなんだったのかということがありました。個人の良識の問題ではありますが、整理券を配るのなら外で並んだ際に配れば良いのではないでしょうか。
●学習発表会の順番札を外で待っている間に配布していただけたら、よりスムーズに行けたのでは、と思いました。私が並んだ時は、玄関で順番を抜かすような方は居なかったのですが、他の学年で並び順を抜かして、番号札をもらっていた方が居たと聞きました。
●学習発表会の内容が毎年毎年どの学年も音楽ですが、他の学校はもっと子どもたちの自主性も取り入れて、劇や流行のダンスやソーラン節を取り入れるなどしているのに対し、緑丘小学校の学習発表会は全く新しさも何もなく残念なものだなと毎年思っています。

川上より～本校はじめ帯広市小中学校は、「令和4年度帯広市学校教育活動についての考え方(ネットでもご覧いただけます)」をよりどころに、その時点での情勢を加味しながら教育活動を実施しています。学習発表会については、「平日開催、午前日程」「練習時間は10時間程度」の中でそれぞれの学年の一人一人の児童が輝けるよう、年度当初からの教科学習をベースに発表プログラムを組んでいるところです。ご指摘には、「本校でもすでに検討したが実現が叶わなかったこと」「次年度に向けて改善しなくてはならないこと」など多々あり、参考にさせていただきます。

●テストが終わった後、タブレットを使う事が出来ると聞きました。テストを早く終わらせてタブレットをやりたいという気持ちになりませんか？丁寧に取り組む事や再確認する事、時間を有効的に使う事、また待つ事を含めてテストに臨んで欲しいと思います。
●体育の授業中に生徒を見本にするのは良いのですが先生からの適切な指導が見られない時があると聞きました。体育指導が得意な先生と時間割を合わせたり、先生方が交代したり出来たら良いなと思っています。
●毎週月曜日と金曜日のタブレットの持ち帰りで、ランドセルがとても重くて可哀想になり

ます。登下校に片道30分以上かかるので、尚更です。

●遠足の距離がハード過ぎて（高学年は特に）心配です。

●授業間の休み時間が短い。委員会の仕事などで昼休み等がつぶれお手洗いにも行けないと聞いた。生理になる子がいたりお手洗いに行かなくてはいけない場合もあると思う。限りある時間で委員会が大事なのもわかるが、少し配慮していただきたく思います。

川上より～テスト後のタブレット使用について、「テスト」も学年やそのテストによって意味づけが異なる場面があります。ご意見はそのとおりなので、今後も適宜判断してまいります。タブレット端末や授業、行事、休み時間の活動など、ご意見ありがとうございました。

●別室登校しておりますので、別室と□年□組と校長室などを想像してアンケートに答えました。登校するのもやっとだったりしますが、連携してくださっているところがありがたいです。普段、子どもの心に寄り添っていただいて、学校での安心感も増して、元気になってきたところもあると思います。少しずつ人と関わる気持ちを育てていきたいです。

●今の担任団自体は不満があるわけではないのですが、過去の管理職の対応や相談体制の仕組みや共有などで未だに不信感があります。

○□□先生になってから、学校に行きたがらなかった子供が、毎日楽しんで学校に通っています。本当に感謝しています。

○一般論で捉えにくい少数派の背景を持って、集団の中で生きている児童もいます。背景が異なれば、言動の裏にある思いや受け止め方にも違いが濃く出ます。集団への適応指導は必要な事だと理解しています。それと同時に、スルーせず「どうしてそう感じるに至ったか？」と先生方が思いを馳せて気持ちを大切に扱ってくれようとしていることや、思い込みでなく想像力を持って自分達の話を聞いてくれようとしていることを子ども達が確信できたら、子ども達は自分にできる方法を見つけて自ら行動し始めると感じることがあります。先生方の日々のご苦労とご活躍に、感謝しています。

川上より～令和５年度緑丘小学校の重点を「人とつながる緑丘小学校」と定め、歩んできました。コロナ禍でずいぶんと薄れてしまった人と人とのつながりを回復したいという思いからです。５月に新型コロナウイルス感染症が５類に移行し、感染症がなくなったわけではないものの感染する児童数もずいぶん少なくなり、学習活動や学校行事はもちろんＰＴＡ活動等でもいろいろなことができるようになってきました。コロナ禍の期間は、「必要だと思っていたが、なくても大丈夫なもの」「それまで気にしていなかったが、実はとても重要だったもの」など、いろんなもの・ことに気づかせてくれました。これからも、人として生きていくには「人とつながる」ことは不可欠と考えますし、そのために学校で大切にしていくべきもの・ことは何か、児童や保護者の方と意見を交わしながら考えていきたいと思います。

「アンケート」は次回に続きます